

教科・科目		芸術 音楽 I			単位数	2単位		
					対象学年		1学年	
担当者	1組	2組	3組	4組	5組			
教科書		MOUSA I						
補助教材								
目標		知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等		
教科の目標		芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるようにする。		創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。		生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。		
科目の目標		<ul style="list-style-type: none"> 音楽を形づくっている要素及び音楽に関する用語や記号などについて、音楽表現上の働きとかかわらせて理解している。 個性をいかした音楽表現を創意工夫したり、表現意図を音楽で表現したりするための技能を身につけている。 		感性を働かせ、音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感じながら、知識や技能を得たり活用したりして音楽表現を工夫しようとしている。		<ul style="list-style-type: none"> 音や音楽のよさや美しさなどの質的な世界を価値あるものとして感じ取る感性 協働して音楽活動をする喜びの自覚 芸術として音楽の学習に主体的に取り組む態度 生涯にわたり音楽を愛好する心情 美しいものや優れたものに接して感動する、情感豊かな心としての情操 		
	単元名	単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準		知 思 態	配当時数
1学期	歌唱(校歌)	知 基本的な発声を身につけ曲想の良さを味わいながら歌うことができる。	<ul style="list-style-type: none"> 発声 校歌 	知 基本的な発声を身につけて歌うことができる。	<ul style="list-style-type: none"> 〇〇〇 	6		
		思 歌詞の鑑賞を通して内面的な理解を深める。		思 歌詞の意味を理解しようとしている。				
		学 音楽のよさや美しさを感じ、主体的に学習に取り組んでいる。		態 主体的に学習に取り組もうとしている。				
	楽典	知 基本的な音楽記号の名前や意味を理解することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 音符記号、休符記号、強弱記号、臨時記号、ト音・ヘ音読譜 	知 基本的な音楽記号の名前や意味を理解することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 〇〇〇 	11		
		思 音楽記号を理解し、歌唱や器楽の演奏に活かしている。		思 音楽記号を理解し、歌唱や器楽の演奏に活かそうとしている。				
		学 関心を持ち、主体的に学習に取り組んでいる。		態 主体的に取り組もうとしている。				
中間考査	授業内実技テスト(校歌)				〇〇〇	1		
器楽(三線)	知 基本的な演奏方法を身につけ、正しい運指で日本の曲を味わって演奏することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 三線の構え方、歴史 工工四の読み方 キラキラ星、かえるのうた 海の声 	知 基本的な奏法を身に付け、正しい運指で日本の曲を味わって演奏することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 〇〇〇 	7			
	思 五音音階を知覚し、三線の音の良さを感じながら、音楽表現を工夫している。		思 五音音階と知覚し、三線の音の良さを感じながら、音楽表現を工夫しようとしている。					
	学 音楽文化を尊重し、学習に主体的に取り組んでいる。		態 音楽文化を尊重し、学習に主体的に取り組もうとしている。					
期末考査	筆記テスト、実技テスト(三線)				〇〇	2		
2学期	楽典(全音・半音・音程)	知 音楽を形づくっている要素を理解できる。	<ul style="list-style-type: none"> 全音半音、度数(1~8度) 聴音 	知 音楽を形づくっている要素を理解しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> 〇〇〇 	11		
		思 音程の構造を理解し、判定できる。		思 音程の構造を理解し、判定しようとしている。				
		学 音楽の学習に主体的に取り組んでいる。		態 音楽の学習に主体的に取り組もうとしている。				

器楽(ギター)	知 正しい奏法を身に付け、他者と併せて演奏ができる。	ギターの構え方、歴史 TAB譜の読み方 音階 ストローク奏法	知 正しい奏法を身に付け、他者と合わせて演奏しようとしている。	〇〇〇	11
	思 音楽を形づくっている要素を理解し、曲想を考えて演奏表現を工夫することができる。	コード キラキラ星、かえるのうた、 ハッピーバースデー 各グループ課題曲(ハッピーバースデー、カントリー	思 音楽を形作っている要素を近いし、曲想を考えて演奏表現を工夫しようとしている。		
	学 他者と協働して取り組み、音楽のよさや美しさを感じ取ることができる。	ロード、水平線、小さな恋のうた、負けないで)	態 他者と協働して取り組み、音楽の良さや美しさを感じ取ろうとしている。		
中間考査	授業内 小テスト(実技)			〇〇	1
鑑賞(動物の謝肉祭)	知 音の要素を知覚し、音の要素が曲想を表現することを感じ取ることができる。	音の要素(リズム、メロディー、ハーモニー、構成、強弱、テクスチュア、テンポなど)	知 音の要素が曲想を表現していることを感じ取ろうとしている。	〇〇〇	4
	思 自分の考えを他者に共有し、他者の考えに共感することができる。	動物の謝肉祭(各楽章すべて)	思 自分の考えを他者に共有し、他者の考えに共感しようとしている。		
	学 音の要素に関心を持ち、自分の考えを持って主体的に取り組むことができる。	他者と意見交流	態 音の要素に関心を持ち、自分の考えを持って主体的に取り組もうとしている。		
期末考査	授業内テスト(筆記、実技)			〇〇	2
3学期 楽典(トライアドコード)	知 コードの構成が理解できる。	・音程の復習 ・コード(メジャー、マイナー、ディミニッシュ、オーグメント)の構成、表記	知 コードの構成を理解しようとしている。	〇〇〇	10
	思 コードを判別することができる。	・聴き取り ・練習プリント ・テスト	思 コードを判別しようとしている。		
	学 コードに興味を持ち主体的に取り組むことができる。		態 コードに興味を持ち主体的に取り組もうとしている。		
器楽(ボディーパーカッション)	知 正しく楽譜を読み取り、楽譜通りの演奏ができる。	・楽譜の読み方 ・各パートごと指導 ・合わせ練習	知 正しく楽譜を読み取り、楽譜通りの演奏をしようとしている。	〇〇〇	10
	思 音楽を形づくっている要素を理解し、曲想を考えて演奏表現を工夫することができる。		思 音楽を形作っている要素を近いし、曲想を考えて演奏表現を工夫しようとしている。		
	学 他者と協働して取り組み、リズムからなる音楽のよさや楽しさを感じ取ることができる。		態 他者と協働して取り組み、リズムからなる音楽のよさや楽しさを感じ取ろうとしている。		
期末考査	授業内テスト(筆記、実技)			〇〇	2

指導目標 知=知識及び技能 思=思考力、判断力、表現力等 学=学びに向かう力、人間性等

評価規準 知=知識・技能 思=思考・判断・表現 態=主体的に学習に取り組む態度

教科・科目		芸術 音楽Ⅱ			単位数	2単位	
					対象学年	2学年	
担当者	X2	X3					
教科書	MOUSA2						
補助教材							
目標	知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等		
教科の目標	芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるようにする。		創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。		創造活動に関心を持ち、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。		
科目の目標	【器楽】正しい運指で、アンサンブルや和音の響きの美しさを味わって演奏しようとしている。 【歌唱】豊かな発声を目指し、他声部と音の重なりを聴きながら美しいハーモニーで歌う技能を身につけようとしている。 【鑑賞】様々なジャンルの音楽に触れ、背景や文化等を知覚しようとしている。		音楽の諸要素を知覚し、音楽のよさや美しさを感じ取り、個性豊かに感性を働かせて、表現を工夫しようとしている。		他者と協働して演奏表現を工夫しようと意欲的に取り組もうとしている。		
	単元名	単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知 思 態	配当時数
1学期	楽典(反復記号、著作権)	知 読譜に必要な反復記号の名前や意味を理解することができる。著作権についても理解することができる。		反復記号(リピート、ダブルセーニョ、ダカーポ、ビエデ、コーダ、ビス、テル)著作権	知 読譜に必要な反復記号の名前や意味を理解しようとしている。	〇〇〇	9
		思 楽譜をみて反復記号を判別することができる。著作権について判断することができる。			思 楽譜をみて反復記号を判別しようとしている。		
		学 興味関心を持ち、主体的に学習に取り組んでいる。			学 興味関心を持ち、主体的に学習に取り組もうとしている。		
	歌唱(糸、ハナミズキ、涙そうそう)	知 音程やリズム、フレーズなどを把握し、歌唱表現するための技能を身につけている。		発声 糸、ハナミズキ、涙そうそう	知 音程やリズム、フレーズなどを把握し、歌唱表現するための技能を身につけている。	〇〇〇	14
思 曲想を感じ取り、それに応じた表現の工夫をしている。		思 曲想を感じ取り、それに応じた表現の工夫をしようとしている。					
学 正しい発声法をみにつけ、意欲的に歌っている。		学 正しい発声法をみにつけ、意欲的に歌おうとしている。					
楽典(和音)	知 協和音程の違いを理解することができる。		和音(完全協和音程、不完全協和音程、不協和音程)	知 協和音程の違いを理解しようとしている。	〇〇〇	4	
	思 各和音の響きの違いを感じ取ることができる。			思 各和音の響きの違いを感じ取ろうとしている。			
	学 意欲的に取り組んでいる。			学 意欲的に取り組もうとしている。			
期末考査	授業内テスト(実技・筆記)			授業内テスト(実技・筆記)	〇〇	2	
2学期	器楽(ギター)	知 ギターを正しい運指で押さえ、曲にあった奏法を用いて演奏できる。		ギター三重奏(空飛ぶ宅急便、天体観測)	知 ギターを正しい運指で押さえ、曲にあった奏法を用いて演奏しようとしている。	〇〇〇	14
		思 曲想にあった演奏方法を考え表現している。			思 曲想にあった演奏方法を考え表現しようとしている。		
		学 他者と協働して演奏表現に取り組んでいる。			学 他者と協働して演奏表現に取り組もうとしている。		
	楽典(セブンス)	知 四和音(セブンスコード)の違いを感じ取り、構成を理解することができる。		各セブンスコード	知 四和音(セブンスコード)の違いを感じ取り、構成を理解しようとしている。	〇〇〇	6
思 各和音の音の響きの違いを感じ取ることができる。		思 各和音の音の響きの違いを感じ取ろうとしている。					
学 ギターで扱っているコード(和音)に関心を持ち、理解しようと意欲的に取り組んでいる。		学 ギターで扱っているコード(和音)に関心を持ち、理解しようと意欲的に取り組もうとしている。					

	鑑賞(各地の伝統音楽)	<p>知 文化的な背景を理解し、各地域の伝統音楽のリズムや音の特徴を聴きとることができる。</p> <p>思 各音楽のリズムや音の特徴を良さを味わっている。</p> <p>学 各地域の音楽に興味・関心を持ち、積極的に他者と理解を深め合うことができる。</p>	・各地域の伝統音楽	<p>知 文化的な背景を理解し、各地域の伝統音楽のリズムや音の特徴を聴きとろうとしている。</p> <p>思 各音楽のリズムや音の特徴を良さを味わおうとしている。</p> <p>学 各地域の音楽に興味・関心を持ち、積極的に他者と理解を深め合おうとしている。</p>	〇〇〇	8
	期末考査	授業内テスト(実技・筆記)		授業内テスト(実技・筆記)	〇〇	2
3学期	鑑賞(コンテンポラリー・ミュージック)	<p>知 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、および文化的・歴史的背景について理解を深め、多様な音楽の価値観を受容する。</p> <p>思 音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴く。</p> <p>学 主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組んでいる。</p>	各時代の音楽の変化 コンテンポラリー・ミュージック(ハンガリアン・ロック、弦楽六重奏のための180 beats per minute)	<p>知 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、および文化的・歴史的背景について理解を深め、多様な音楽の価値観を受容しようとしている。</p> <p>思 音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴こうとしている。</p> <p>学 主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>	〇〇〇	6
	器楽(ピアノ)	<p>知 鍵盤の配置や楽譜の読み方を理解してメロディーを演奏することができる。</p> <p>思 メロディーの重なりを楽しみ、演奏表現を工夫して演奏することができる。</p> <p>学 主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。</p>	<p>・鍵盤の配置</p> <p>・読譜</p> <p>・運指</p> <p>・きらきら星、かえるのうた、ハッピーバースデー、連弾曲</p>	<p>知 鍵盤の配置や楽譜の読み方を理解してメロディーを演奏しようとしている。</p> <p>思 メロディーの重なりを楽しみ、演奏表現を工夫して演奏しようとしている。</p> <p>学 主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。</p>	〇〇〇	12
	期末考査	授業内テスト(実技)			〇〇〇	1

指導目標 知=知識及び技能 思=思考力、判断力、表現力等 学=学びに向かう力、人間性等

評価規準 知=知識・技能 思=思考・判断・表現 態=主体的に学習に取り組む態度

教科・科目		芸術 音楽Ⅲ			単位数	2単位	
					対象学年	3学年	
担当者		YI					
教科書		Joy of Music					
補助教材							
目標		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等			
教科の目標		芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるようにする。	創造的に表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。	創造活動に関心を持ち、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。			
科目の目標		これまでの音楽知識を生かし、曲にふさわしい演奏技術を身につけるとともに、歴史や思想と音楽の結びつきについて理解することができるようにする。	音楽の諸要素を知覚し、音楽のよさや美しさを感じ取り、想像力を働かせながら表現を工夫しようとしている。	他者と協働して演奏表現を工夫しようと意欲的に取り組もうとしている。			
単元名	単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準		知 思 態	配当時数
1学期	歌唱①	知 楽譜の内容を読み取ることができ、曲にふさわしい演奏技術を身につけている	<ul style="list-style-type: none"> ・Progress ・星めぐりの歌 ・島人ぬ宝 ・アイノカタチ 	知 楽譜の内容を読み取ることができ、曲にふさわしい演奏技術を身につけようとしている。	〇〇〇	15	
		思 歌詞の意味や作曲の背景が音楽でどのように表現されているか感じ取り、演奏表現を工夫することができる。		思 歌詞の意味や作曲の背景が音楽でどのように表現されているか感じ取り、演奏表現を工夫しようとしている。			
		学 意欲的に取り組み、自らよりよい音楽作成にしようとして創意工夫することができる。		態 意欲的に取り組み、自らよりよい音楽作成にしようとして創意工夫しようとしている。			
	西洋音楽史	知 歴史的背景や理論、音楽的特徴を知覚している。	ルネサンス～現代音楽 (教科書P.92~103)	知 音楽を聴き比べて、音楽的特徴を捉え、歴史的背景、理論について理解しようとしている。	〇〇〇	15	
		思 その時代の音楽の特徴を捉え、曲を良さを感じ取ることができる。		思 時代ごとの音楽を聴き比べ、違いや良さを感じ取ろうとしている。			
学 音楽と背景を結び付けながら、意欲的に取り組んでいる。		態 音楽と背景を結び付けながら、意欲的に取り組んでいる。					
リズムアンサンブル(ソルフェージュ復習)	知 音楽用語を理解して楽譜を読むことができる。	教科書P.12~15	知 音楽用語を理解して楽譜を読むようとしている。	〇〇〇	2		
	思 楽譜を読み取り、楽譜の内容を表現することができる。		思 楽譜を読み取り、楽譜の内容を表現しようとしている。				
	学 音楽的能力向上のために意欲的に取り組んでいる。		態 音楽的能力向上のために意欲的に取り組もうとしている。				
期末考査	筆記、実技テスト(授業内)			〇〇〇	2		
2学期	グループアンサンブル	知 これまで学習した音楽知識を生かして、曲にふさわしい義実を身につけることができる。	各グループごとに曲を選定	知 これまで学習した音楽知識を生かして、曲にふさわしい義実を身につけようとしている。	〇〇〇	17	
		思 曲にふさわしい編成やアレンジ、表現を意図をもって表現することができる。		思 曲にふさわしい編成やアレンジ、表現を意図をもって表現しようとしている。			
		学 グループのメンバーと協働して、積極的に取り組むことができる。		態 グループのメンバーと協働して、積極的に取り組もうとしている。			
	舞台芸術(オペラ、オペレッタ、ミュージカル)	知 様々な舞台芸術の特徴を理解することができる。	教科書P.68~69	知 様々な舞台芸術の特徴を理解しようとしている。	〇〇〇	6	
		思 様々な舞台芸術のよさを感じ取ることができる。		思 様々な舞台芸術のよさを感じ取ろうとしている。			
学 感じ取った内容を意欲的に他者と意見交流し、内容を深く追求することができる。		態 感じ取った内容を意欲的に他者と意見交流し、内容を深く追求しようとしている。					

	自分の好きなアーティスト紹介	<p>知 音楽的特徴をとらえ、アーティストの考えを理解することができる。</p> <p>思 アーティストの考えと音楽的特徴を結び付けて曲を感じ取ることができる。</p> <p>学 主体的に学習活動に取り組むことができる。</p>	各自選定	<p>知 音楽的特徴をとらえ、アーティストの考えを理解しようとしている。</p> <p>思 アーティストの考えと音楽的特徴を結び付けて曲を感じ取ろうとしている。</p> <p>態 主体的に学習活動に取り組もうとしている。</p>	〇〇〇	10
	期末考査	グループ発表、アーティスト紹介発表			〇〇〇	5
3学期	歌唱③	<p>知 曲にふさわしい歌唱表現をするための技能を身につけている。</p>	・オワリはじまり	<p>知 豊かな歌唱表現を身につけようとしている。</p>	〇〇〇	3
		<p>思 歌詞に込められた思いを理解し、伝えられるよう歌唱表現を工夫している。</p>		<p>思 歌詞に込められた思いを自分なりの解釈を持ち、歌で表現しようとしている。</p>		
		<p>学 豊かな発声方法を身につけ、意欲的に取り組んでいる。</p>		<p>態 意欲的に歌い、歌唱表現を工夫しようとしている。</p>		
現代の音楽	<p>知 音楽的特徴や社会との関わりを理解することができる。</p>	<p>・ビートルズ (教科書P.74~77)</p>	<p>知 音楽的特徴や社会との関わりを理解しようとしている。</p>	〇〇〇	3	
	<p>思 他者の考えに対し、自分の意見を持って批評することができる。</p>		<p>思 他者の考えに対し、自分の意見を持って批評しようとしている。</p>			
	<p>学 様々な演奏表現や考え方に興味をもち、主体的に学習活動に取り組むことができる。</p>		<p>態 学 様々な演奏表現や考え方に興味をもち、主体的に学習活動に取り組んでいる。</p>			

指導目標 知=知識及び技能 思=思考力、判断力、表現力等 学=学びに向かう力、人間性等

評価規準 知=知識・技能 思=思考・判断・表現 態=主体的に学習に取り組む態度

教科・科目		芸術 美術 I			単位数	2単位		
					対象学年		1学年	
担当者	1組	2組	3組	4組	5組			
教科書	高校生の美術 I 日本文教出版							
補助教材	それぞれの単元課題に必要なワークシート・材料・用具□							
目標	知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等			
教科の目標	芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるようにする。		創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。□		生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。□ □			
科目の目標	基礎的な絵画、彫刻についての知識、技法を身につけ自身の表現に活かすことができる。また美術作品を深く鑑賞していくために、作家の絵画作品についての知識を身につけ芸術作品の鑑賞に活かすことができる。		自身や自分の身の回りに注目して観察、考察し、自ら主題を定め、芸術的にその主題を表現することができる。また、他者の表現を観察、考察し、自らの解釈を表すことができる。		自己評価に基づき、積極的に表現について改善を図ろうとし、自身の芸術的感性を高意欲的に表現、鑑賞に取り組もうとしている。			
	単元名	単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準		知 思 態	配当時数
I 学期	B.鑑賞 アートとは何か	知 色々な作品を見ながらアートとは何かを深く考える		今までの学習を振り返り、色々な作品を見ながら美術の学びの意味や広がりについて考える。	知 色々な作品を見ながらアートとは何かを深く考えたか		〇〇〇	2
		思 アートとは何かについて自分の考えを言葉で表現する			思 アートとは何かについて自分の考えを言葉で表現できたか			
		学 アートとは何かに関心を持ち意欲的に取り組む			態 アートとは何かに関心を持ち意欲的に取り組むことができたか			
	A.表現 色彩学習	知 色彩の仕組みを理解し、制作している。		色彩の仕組みについての復習。色相環、色の三属性、混色などのワークシートを完成させる。	知 色彩の仕組みを理解し、制作に生かしているか		〇〇〇	6
		思 色彩の美しさを感じながら丁寧に制作に取り組む。			思 色彩の美しさを感じながら丁寧に制作に取り組んでいるか			
		学 作品の完成度を上げるために主体的に制作に取り組む			態 作品の完成度を上げるために主体的に制作に取り組もうとしているか			
	中間考査							0
	A.表現 絵画 アクリル絵画「身近なものを描く」	知 アクリル絵の具の特性を理解し表現に活かす。		用意された静物モチーフに自分の大切な物を組み合わせる。制作する。	知 基本的なアクリル絵の具の特性や筆を使った絵画の技法を理解し、制作に生かしているか。		〇〇〇	16
		思 形、色彩、構図を意識してモチーフと愛着のある物を組み合わせる。			思 構図とテーマを意識してモチーフと愛着のあるものを組み合わせる制作しているか。			
		学 作品の完成度を上げるために主体的に制作に取り組む			態 作品の完成度を上げるために主体的に制作に取り組もうとしているか。			
B.鑑賞 現代絵画の父ポール・セザンヌ	知 ポール・セザンヌの絵画が生まれた背景とその絵画の基本の考え方をを知る		現代絵画の始祖とされるポール・セザンヌについて学習し絵画について理解を深める。	知 ポール・セザンヌの絵画が生まれた背景とその絵画の基本の考え方を学ぶことができたか。		〇〇〇	2	
	思 得た知識を自分なりに理解、解釈し、まとめる			思 得た知識を自分なりに理解、解釈し、まとめることができるか。				
	学 主体的に鑑賞学習に取り組む。			態 主体的に鑑賞学習に取り組んでいるか。				
期末考査							0	

2学期	B.鑑賞 イサム・ノグチ「モエレ沼公園」	知 イサム・ノグチの生涯と抽象彫刻を知る。	20世紀を代表する彫刻家イサム・ノグチの生涯最後の作品を鑑賞し、抽象彫刻、パブリックアートについて理解を深める。	知 作品を全体のイメージで捉えることを理解しているか。	〇〇〇	2
		思 得た知識を自分なりに理解、解釈し、まとめることができる。		思 作者の心情や表現の意図と工夫などについて考え、見方や感じ方を深めているか。		
		学 作者の生き様、時代背景までを理解しながら芸術作品を鑑賞する		態 主体的に作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の思いなどについて考える鑑賞の創造活動に取り組もうとしているか。		
	A.表現 立体「パブリックアート」校内に作る野外彫刻計画	知 野外彫刻について知り、構想と模型の制作に活かす	学校の敷地内に野外彫刻を設置する計画を立て、そのスケールを把握しながら模型を制作する。実際の素材に近い材料を考え選択し、制作する。	知 パブリックアートについて理解し、スケール感を掴んでいるか。	〇〇〇	16
思 校内に設置することを踏まえてその場に適した野外彫刻を構想し模型を作る	思 実際の素材に近づけて表現ができていますか。					
学 主体的に構想し模型の制作に取り組む	態 主体的に作品を制作することに集中しているか。					
中間考査					0	
A.表現 立体「パーソナルチェア」自分だけの椅子模型	知 椅子のデザインに必要な知識を学習し、理解する	野外彫刻に対し対照的な自分のための椅子を考え、模型を制作する。	知 椅子のデザインに必要な知識を学習し、理解したか	〇〇〇	12	
	思 自分が美しく感じ、気持ちよく使える椅子を構想し、模型を作る		思 自分が美しく感じ、気持ちよく使える椅子を構想し、模型を作っているか			
	学 主体的に構想し模型の制作に取り組む		態 主体的に作品を制作することに集中しているか			
期末考査						
3学期	B.鑑賞 「葛飾北斎」	知 江戸時代の絵師北斎の浮世絵を鑑賞し、理解する	北斎の浮世絵「神奈川沖浪裏」の映像を鑑賞し、次の版画課題に繋げる。	知 江戸時代の絵師北斎の浮世絵を鑑賞し、理解したか	〇〇〇	2
		思 得た知識を自分なりに理解、解釈し、まとめ、表現することができる。		思 得た知識を自分なりに理解、解釈し、まとめ、表現することができたか		
		学 時代背景を理解しながら作品を積極的に鑑賞する。		態 時代背景を理解しながら作品を積極的に鑑賞することができたか		
A.表現 版画[EX・LIBRIS]蔵書票を作る	知 蔵書票の存在を調べ、版画の技法を知り、作品制作に活かす。	蔵書票という自分の所有物を示す作品を通して自己を表現し、実際に自分の大切な本に貼る。	知 蔵書票の存在を調べ、版画の技法を知り、作品の表現に活かしたか	〇〇〇	20	
思 蔵書票として自分自身のオリジナリティのある表現を版画の技法の範囲の中でデザインする。	思 蔵書票として自分自身のオリジナリティのある表現を版画の技法の範囲の中でデザインできているか。					
学 作品の完成度をあげるべく主体的に制作に取り組む。	態 作品の完成度をあげるべく主体的に制作に取り組んでいるか。に取り組んでいるか。に取り組んでいるか。					
期末考査					0	

指導目標 知=知識及び技能 思=思考力、判断力、表現力等 学=学びに向かう力、人間性等

評価規準 知=知識・技能 思=思考・判断・表現 態=主体的に学習に取り組む態度

教科・科目		芸術 美術Ⅱ			単位数	2単位
					対象学年	2学年
担当者		X2	X3			
教科書		高校生の美術2 日本文教出版				
補助教材		それぞれの単元課題に必要なワークシート・材料・用具				
目標		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等		
教科の目標		芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるようにする。	創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。□	美術の創造活動に関心を持ち、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。□		
科目の目標		対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。1年で身につけた絵画、彫刻、デザインの知識や技法を自身の表現に活かし、表現方法を創意工夫し、個性豊かに創造的に表している。□ □ □	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えることができる。主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めることができる。□	"主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、自身の芸術的感性を高め、表現、鑑賞に取り組むことができる。		
	単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態	配当時数
1学期	B.鑑賞「デザインの基礎」	知 デザインの世界の幅広さや役割を理解し、効果的に伝えるための表現の工夫を捉える。	資料や映像を鑑賞し、デザインとは何かを学習する。情報の整理をベースに伝わりやすさと五感に対する心地よい表現とは何か考える。色彩の仕組みや効果についても深く学ぶ。	知 デザインの世界の幅広さや役割を理解し、効果的に伝えるための表現の工夫を捉えられたか	○○○	2
		思 伝達の目的や条件などを基に、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて考え、鑑賞する。		思 伝達の目的や条件などを基に、発想や構想の独自性と表現の工夫などを考え、鑑賞しているか□		
		学 表現の工夫などを他者の作品から見つけ鑑賞する創造活動に、主体的に取り組む		態 表現の工夫などを他者の作品から見つけ鑑賞する創造活動に、主体的に取り組んでいるか □		
	A.表現デザイン「文化祭のポスター」	知 伝えたい目的のイメージを捉えしっかりと計画を基に表現する	ポスターの目的を理解し、伝達の効果を考えてイラストレーションや文字を検討し、配置や配色を工夫して、文化祭ポスターを構想し、表現する	知 伝えたい目的のイメージを捉えしっかりと計画を基に表現しているか	○○○	24
思 伝えたいメッセージや伝える場面などを基に伝達効果を考え、構想を練り、表現する	思 伝えたいメッセージや伝える場面などを基に伝達効果を考え、構想を練り、表現しているか□					
学 伝えたい内容を効果的にポスターに表す創造活動に、主体的に取り組む	態 伝えたい内容を効果的にポスターに表す創造活動に、主体的に取り組んでいるか					
	期末考査				○○	
2学期	B.鑑賞「鳥獣人物戯画」平安～鎌倉	知. 墨の特徴を基に表現された作品を全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解する□	日本最古の漫画とも称される「鳥獣人物戯画」を映像で見ることで、筆遣いなどの細部まで鑑賞し、日本美術の良さを味わう。	知 普段身近に感じている漫画を美術の観点から見つめ直し、その表現の奥深さ、面白さを感じ取れたか	○○○	2
		思 絵巻物の表現方法について理解し、日本美術に対する見方、感じ方を深める。		思 絵巻物の表現方法について理解し、日本美術に対する見方、感じ方を深めることができたか		
		学 絵巻物の表現方法について興味を持ち、積極的に作品を味わいながら鑑賞に取り組む		態 絵巻物の表現方法について興味を持ち、積極的に作品を味わいながら鑑賞に取り組むことができたか		
	A.表現 日本画(墨絵)「パロディー鳥獣人物戯画」	知 墨の効果を理解し、墨によりつくりたされるイメージを捉えて表現する	墨の魅力体験し、鳥獣戯画甲巻の模写をする。単に模写をするだけでなく、持ち物や背景などにパロディーを取り入れることで、過去の作品が現代と結びついていることを実感する	知 墨の効果を理解し、墨によりつくりたされるイメージを捉えて表現しているか	○○○	20
思 墨の表現の特性を基に、形や色彩、質感などの効果を考え、構想を練り、表現する	思 墨の表現の特性を基に、形や色彩、質感などの効果を考え、構想を練り、表現しているか					
学 墨の表現の特性を生かして表現する創造活動に主体的に取り組む	態 墨の表現の特性を生かして表現する創造活動に主体的に取り組んでいるか					

	A.表現 工芸 篆刻	<p>知 篆書体、印の種類、制作手順などを理解する</p> <p>思 知識を基に自分の作品にふさわしい文字のデザインを考える</p> <p>学 サインとしての篆刻の制作に主体的に取り組む</p>	<p>色紙に表現した自分の作品に押すサインとして使用する印を作る</p>	<p>知 篆書体、印の種類、制作手順などを理解しているか</p> <p>思 知識を基に自分の作品にふさわしい文字のデザインを深く考えているか</p> <p>学 サインとしての篆刻の制作に主体的に取り組んでいるか</p>	〇〇〇	8
	期末考査				〇〇	
3学期	B.鑑賞 「デュシャンのレディ・メイド」	<p>知 既製品をそのまま作品として使う手法を生み出した作家について知る。</p> <p>思 得た知識を自分なりに理解、解釈し、まとめることができる。</p> <p>学 時代背景を意識して作品を積極的に鑑賞する</p>	<p>デュシャンの作品「泉」やジョン・ケージの作品「4分33秒」の楽譜などを見て〈制度としての美術〉〈場としての約束事〉について考えてみる。そして、美術とは何かをもう一度考えてみる。□ □ □</p>	<p>知 多様化している美術表現を積極的に知ろうとしたか</p> <p>思 現代美術の発想や構想の独自性と表現の工夫を多様な視点から考え、見方や感じ方を深めているか</p> <p>学 芸術作品とは何か、オリジナリティとは何かについて主体的に考えているか</p>	〇〇〇	2
	A.表現 アッサンブラージュ「箱の中に世界をつくる」	<p>知 ものの見立てや組み合わせなどが感情にもたらす効果などを理解し、表現方法を工夫する</p> <p>思 見立てや組み合わせなどにより作り出される新しい価値や意味などのイメージを生かし表現する</p> <p>学 ものの見立てや組み合わせにより新しい意味や価値をつくりたず創造活動に、主体的に取り組む</p>	<p>箱の中に身近なものを使って立体作品を作る。固定観念にとらわれず、さまざまな素材を組み合わせ、限られた空間の中にそれぞれの世界を作る</p>	<p>知 ものの見立てや組み合わせなどが感情にもたらす効果などを理解し、表現方法を工夫しているか</p> <p>思 見立てや組み合わせなどにより作り出される新しい価値や意味などのイメージを生かし表現しているか</p> <p>学 ものの見立てや組み合わせにより新しい意味や価値をつくりたず創造活動に主体的に取り組んでいるか</p>	〇〇〇	20
	期末考査				〇〇	

指導目標 知=知識及び技能 思=思考力、判断力、表現力等 学=学びに向かう力、人間性等

評価規準 知=知識・技能 思=思考・判断・表現 態=主体的に学習に取り組む態度

教科・科目		芸術 美術Ⅲ			単位数	2単位
					対象学年	3学年
担当者		YI				
教科書		高校生の美術3 日本文教出版				
補助教材		それぞれの単元課題に必要なワークシート・材料・用具□				
目標		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等		
教科の目標		芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるようにする。	創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。	創造活動に関心をもち、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。		
科目の目標		美術Ⅰ、美術Ⅱ学んだ知識や技能をベースに、自身の関心ある分野をより深く追求していく。	美術Ⅰ、美術Ⅱで学んだ体験をベースに、自身の思考、表現をより深く追求していく。	高校美術最後の年。自分自身をより深く見つめること。美術作品を通してものの見方考え方の柔軟性を身につけること。美術文化の継承、創造について視野を広げて考える力を身につけること。		
	単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態	配当時数
Ⅰ学期	B.鑑賞 デュラー作「野うさぎ」	知 美術史の流れを把握し、過去の名作から作品の良さを感じ取り理解する 思 表現方法を良く観察し、感じたことを文章で表す 学 単色のデッサンの良さに気づき、積極的に鑑賞に取り組む	美術史の流れを把握し北方ルネサンスの巨匠の皆さんから自分の表現の方法を探る	知 美術史の流れを把握し、過去の名作から作品の良さを感じ取り理解したか 思 表現方法を良く観察し、感じたことを文章で表わせたか 態 単色のデッサンの良さに気づき、積極的に鑑賞に取り組めたか	〇〇〇	2
	A.表現 素描 「石膏幾何形態とりんご」	知 用具の使い方や基本的な素描の表現方法を知る 思 モチーフから形・色・質感・陰影を感じ取り鉛筆での表現を工夫する 学 見たものを正確に描けるよう積極的に取り組む	基礎的なパネルの水張り、グラデーションなどを経験し、モチーフを良く見て鉛筆だけで表現する	知 用具の使い方や基本的な素描の表現方法を知ることができたか 思 モチーフから形・色・質感・陰影を感じ取り鉛筆での表現を工夫できたか 態 見たものを正確に描けるよう積極的に取り組んだか	〇〇〇	12
	中間考査				〇〇	
	A.表現 彫刻 「バードカービング」	知 鳥の形態に関する資料集めと彫刻刀の使い方 思 立体をイメージして鳥のスケッチを色々な方向から描き、彫り進める 学 バードカービングの制作を楽しみながら積極的に取り組む	鳥の形を良く研究し、把握し、美しい彫刻作品に仕上げていく。	知 鳥の形態に関する資料を集め形態を把握したか。彫刻刀の使い方を理解したか 思 立体をイメージして鳥のスケッチを色々な方向から描き、彫り進められたか 態 バードカービングの制作を楽しみながら積極的に取り組めたか	〇〇〇	12
	期末考査				〇〇	
2学期	B.鑑賞 「絵本の作り方」	知 エリック・カールの「はらべこあおむし」の制作過程を映像で見る 思 映像で見ることにより各自制作の本のイメージを広げる。 自分の作品制作のヒントを探して、積極的に鑑賞する	世界中で愛されている絵本の制作過程を見ることで、自分の作品集制作のヒントを探す。	知 エリック・カールの「はらべこあおむし」の制作過程を理解したか 思 映像で見ることにより各自制作の本のイメージを広げられたか 態 自分の作品制作のヒントを探して、積極的に鑑賞できたか	〇〇〇	2
	A.表現デザイン 本のデザイン1	知 現存する本の中から心に響くものを探し、調べる。 思 造形、色彩の美しさを追求するだけでなく心に響く提案をしっかりとる。 学 積極的に計画に取り組み、企画書を作る	3年間の集大成として本格的ハードカバー製本による作品集作りに取り組む。	知 現存する本の中から心に響くものを探し、調べることができたか 思 造形、色彩の美しさを追求するだけでなく心に響く提案ができたか 態 積極的に計画に取り組み、企画書を作ることができたか	〇〇〇	14
	中間考査				〇〇	
	A.表現デザイン 本のデザイン2	知 本全体の構成、色彩バランスを考えハードカバー製本の手順を覚える 思 企画書を基に各自の制作を計画的に進める 学 作品完成に向かって積極的に制作に取り組む	各自の企画書を基に3年間の集大成として本格的ハードカバー製本による作品集作りに取り組む。□ □ □	知 本全体の構成、色彩バランスを考えハードカバー製本の手順を確認できたか 思 企画書を基に各自の制作を計画的に進められたか 態 作品完成に向かって積極的に制作に取り組むことができたか	〇〇〇	14
	期末考査				〇〇	

3学期	B.鑑賞 本のデザインプレゼンテーションと鑑賞 □ □ □	知 発表は事前にひとり3分程度にまとめておく□		知 プレゼンテーションの用意はできているか	〇〇〇	2
		思 他の人の作品について積極的に鑑賞し、感想を述べたり質問したりする		思 他の人の作品について積極的に鑑賞し、感想を述べたり質問したりしたか		
		態 この時間でしか見られない作品を積極的に主体性を持って鑑賞する		態 この時間でしか見られない作品を積極的に主体性を持って鑑賞できたか		
A.表現デザイン エコバッグのデザイン		知 環境への配慮が求められる昨今、従来までの使い捨ての買い物袋とは異なるマイバッグの意味を考える	現在では日常生活に欠かせないエコバッグのオリジナルデザインを考え、染色用絵の具で仕上げる。	知 マイバッグの必要性を理解したか	〇〇〇	20
		思 布に染色用絵の具を使い、使うことが楽しくなるデザインを考え表現する。		思 オリジナルデザインを考え表現できたか		
	学 楽しみながら積極的に制作に取り組む□	態 オリジナルデザインを考え表現できたか				
	期末考査				〇〇	

指導目標 知=知識及び技能 思=思考力、判断力、表現力等 学=学びに向かう力、人間性等

評価規準 知=知識・技能 思=思考・判断・表現 態=主体的に学習に取り組む態度